

新たな公共交通網の計画策定に向けたアンケートの調査結果について
(概要版)

1 調査概要

(1) 調査期間：

平成29年8月17日(木)～平成29年9月8日(金)締切

※平成29年9月22日(金)到着分までを集計対象

(2) 調査対象者：平成29年4月1日時点で15歳以上の市民3,000人を無作為に抽出

(3) 調査方法：上記の調査対象者に郵送でアンケート調査票を配布し、郵送で回収

(4) 配布・回収状況

配布数(枚)	回収数(枚)	回収率(%)
3,000	1,371	45.7

2 回答者の属性

(1) 性別 人口比率に比べ、若干女性の割合が大きい。

(単位：%)

区 分	男 性	女 性	計
回 答 者	44	56	100
人 口 比 率	48	52	100

出典：人口比率は、「三木市住民基本台帳(平成29年3月末)」から算出

(2) 年齢 人口比率に比べ、60歳代以上の割合が大きい。

(単位：%)

区 分	15～20歳代	30～50歳代	60歳代以上	計
回 答 者	8	33	59	100
人 口 比 率	15	41	44	100

出典：人口比率は、「三木市住民基本台帳(平成29年3月末)」から算出

(3) 居住地域別 ほぼ人口比率に近い割合となっている。

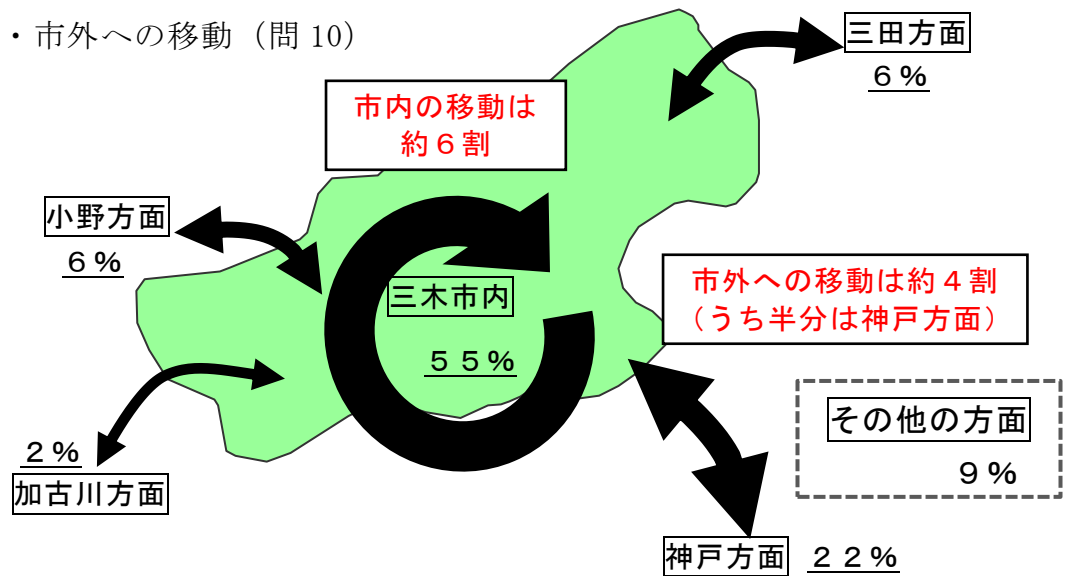
(単位：%)

区 分	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	計
回 答 者	24	6	10	5	3	2	13	19	8	10	100
人 口 比 率	26	7	8	3	3	2	12	21	8	10	100

出典：人口比率は、「三木市住民基本台帳(平成29年3月末)」から算出

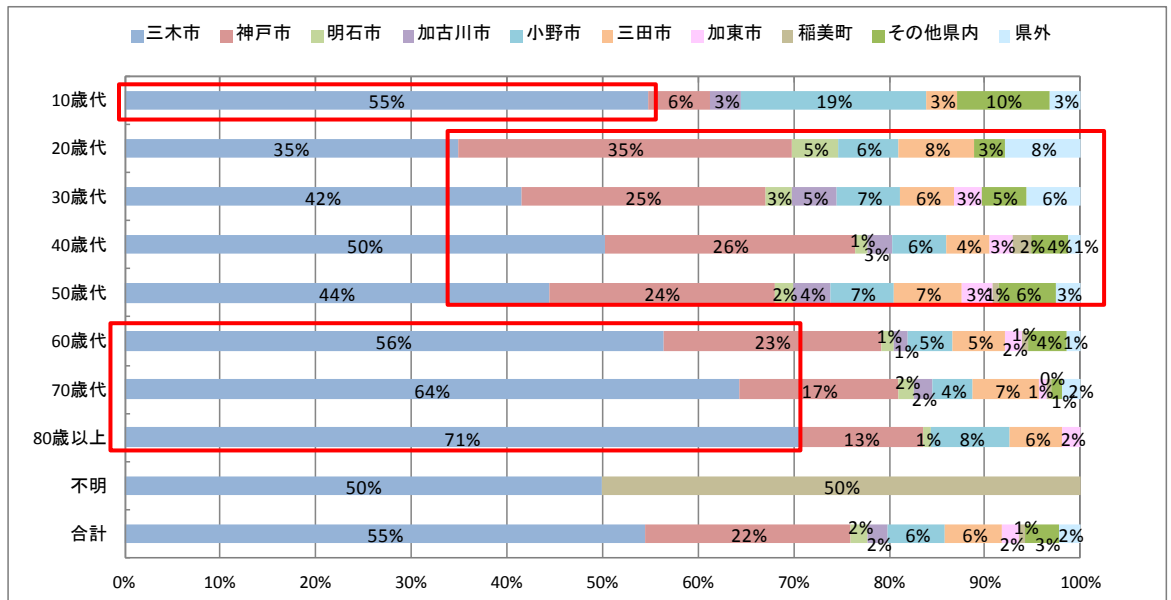
3 調査結果の概要

(1) 市内・市外への移動（問 10）



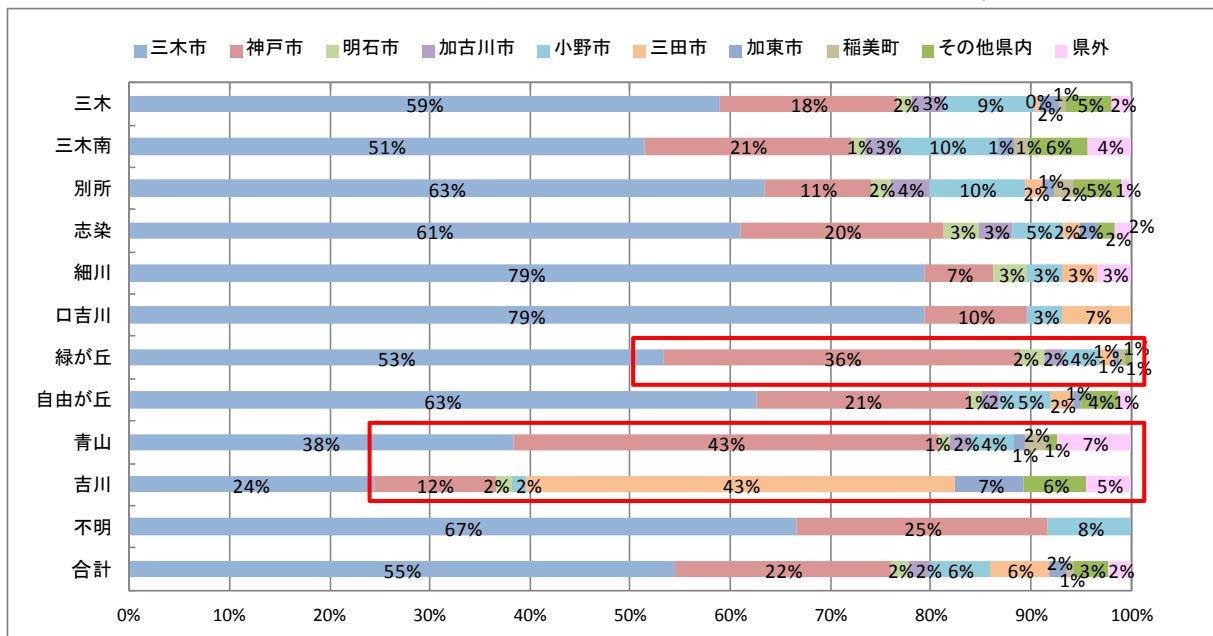
(2) 年齢別の目的地（問 10）

20歳代～50歳代は市外への移動が半数以上を占めており、主に神戸方面への移動が多い。10歳代及び60歳代以上は、市内での移動が多い。



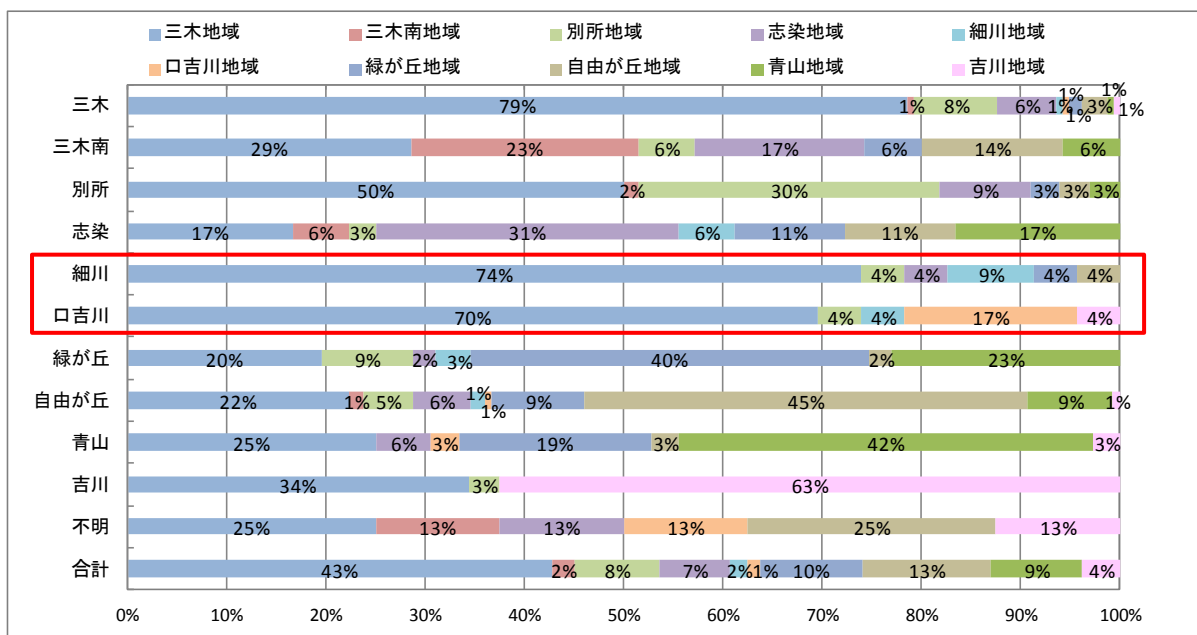
(3) 各地域の移動目的地（全体）（問 10）

多くの地域で三木市内の移動が多くなっているが、緑が丘、青山及び吉川地域から市外への移動が多い。中でも、緑が丘及び青山地域からは神戸方面の移動が多く、吉川地域からは三田方面への移動が多い。



(4) 各地域の移動目的地（市内移動者のみを集計）（問 10）

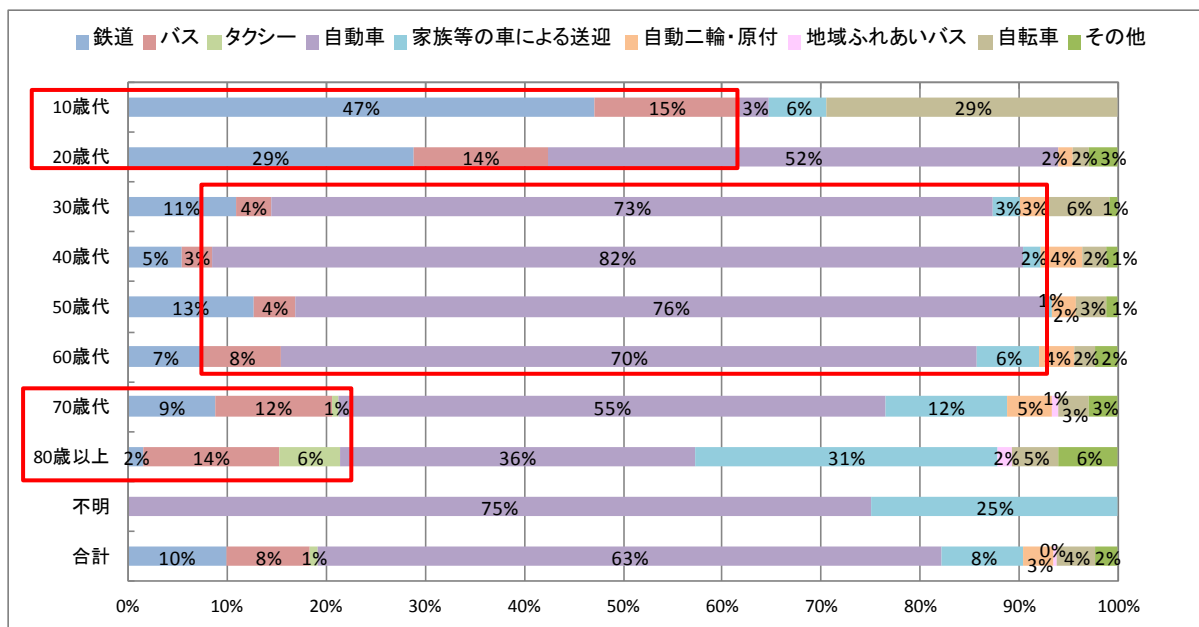
全体で見ると、多くの地域で各地域内での移動が多くなっているが、特に細川及び口吉川で地域内での移動が少なく三木地域への移動が多い。



(5) 年齢別の交通手段

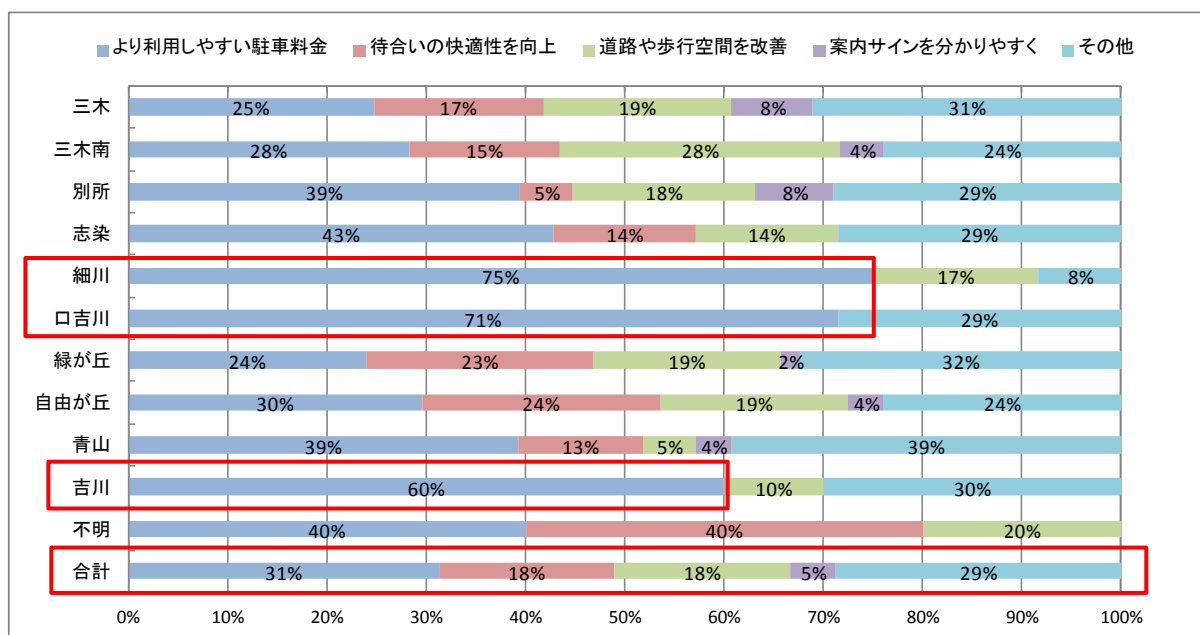
10歳代～20歳代は鉄道やバスの公共交通の利用割合が多くなっているが、30歳代～70歳代で自動車の利用割合が多い。

また、バスの利用については、10歳代～20歳代に加え、70歳代以上でその割合が多くなっている。



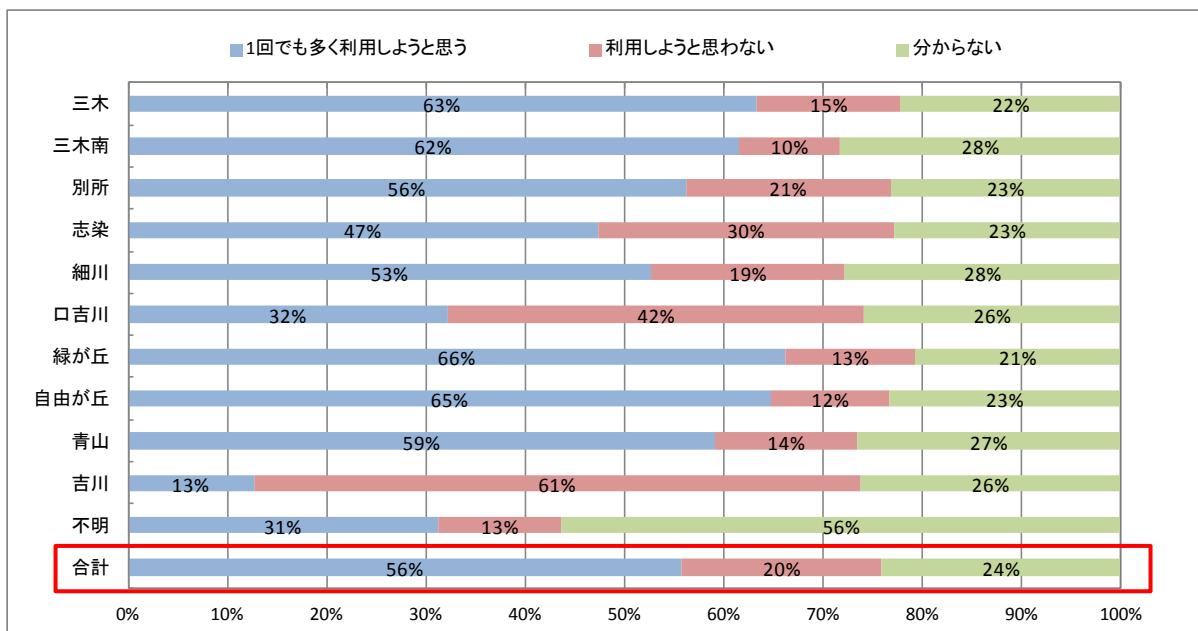
(6) 神戸電鉄を利用する際に不便に感じることや改善が必要と思うこと (問 16-2)

合計で見ると「より利用しやすい駐車料金」が最も多く約3割を占めており、中でも細川、口吉川及び吉川地域で割合が約6～8割と多くなっている。



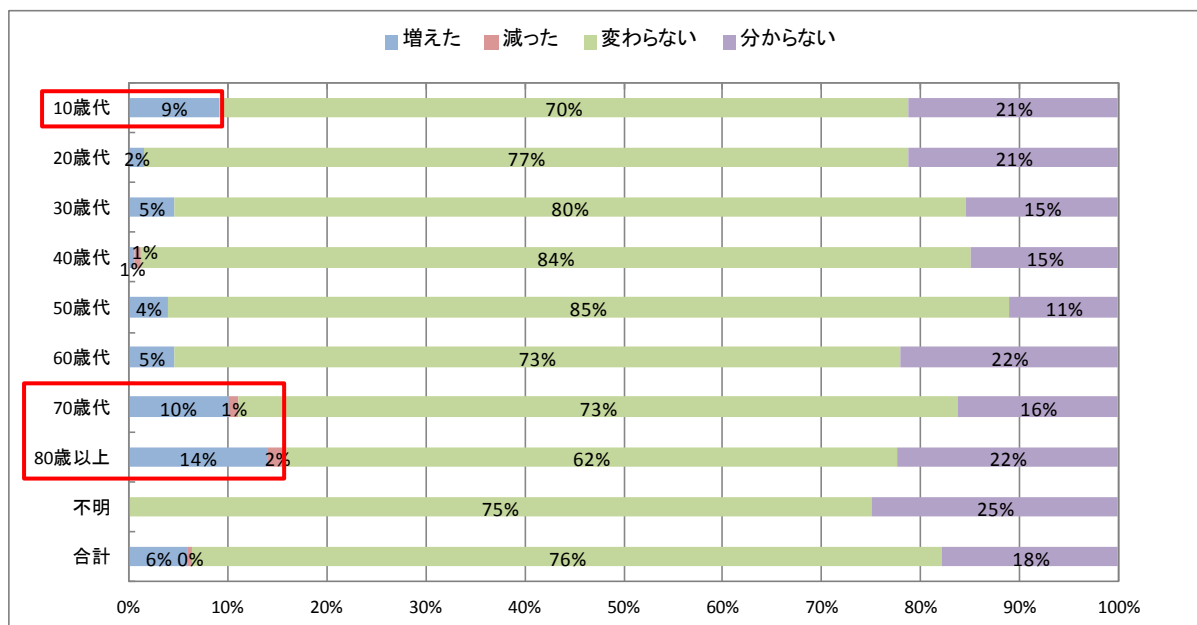
(7) 神戸電鉄粟生線を未来に残すための利用意向（問 17）

合計でみると「1回でも多く利用しようと思う」が約6割を占めており、神戸電鉄粟生線沿線地域（三木、三木南、緑が丘、自由が丘及び青山地域）においてこの割合が高くなっている。



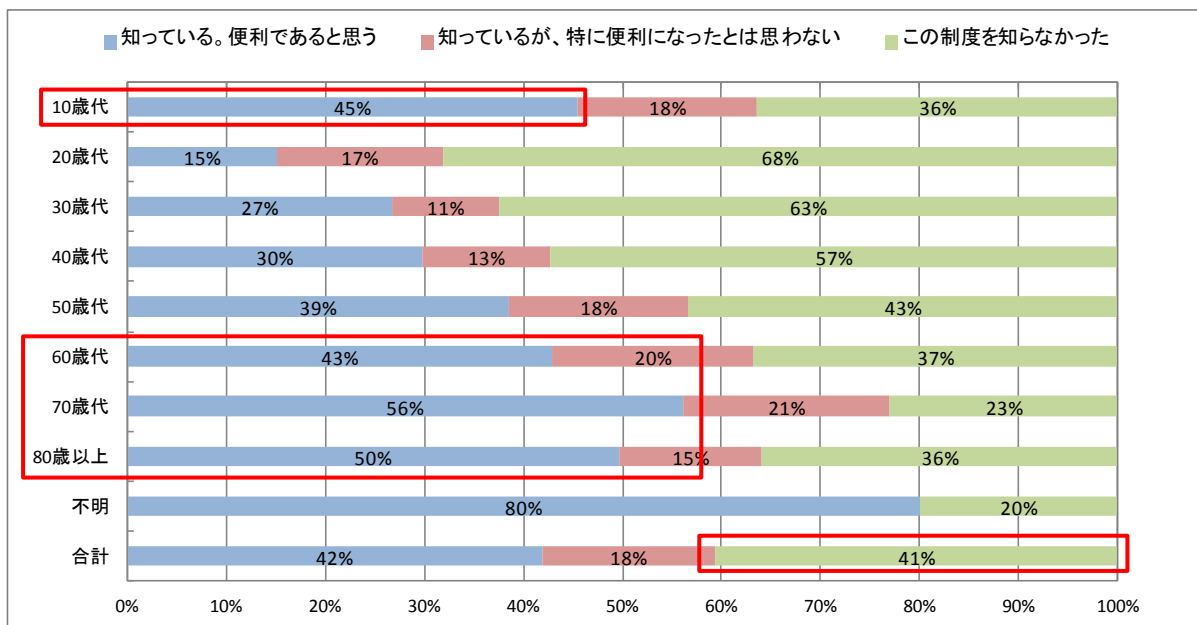
(8) 「一律運賃制」開始後のバスの利用機会（問 21）

年齢別の「一律運賃制」開始後のバスの利用機会は、バスの利用割合が多い10歳代及び70歳代以上で約1割が「増えた」と回答している。



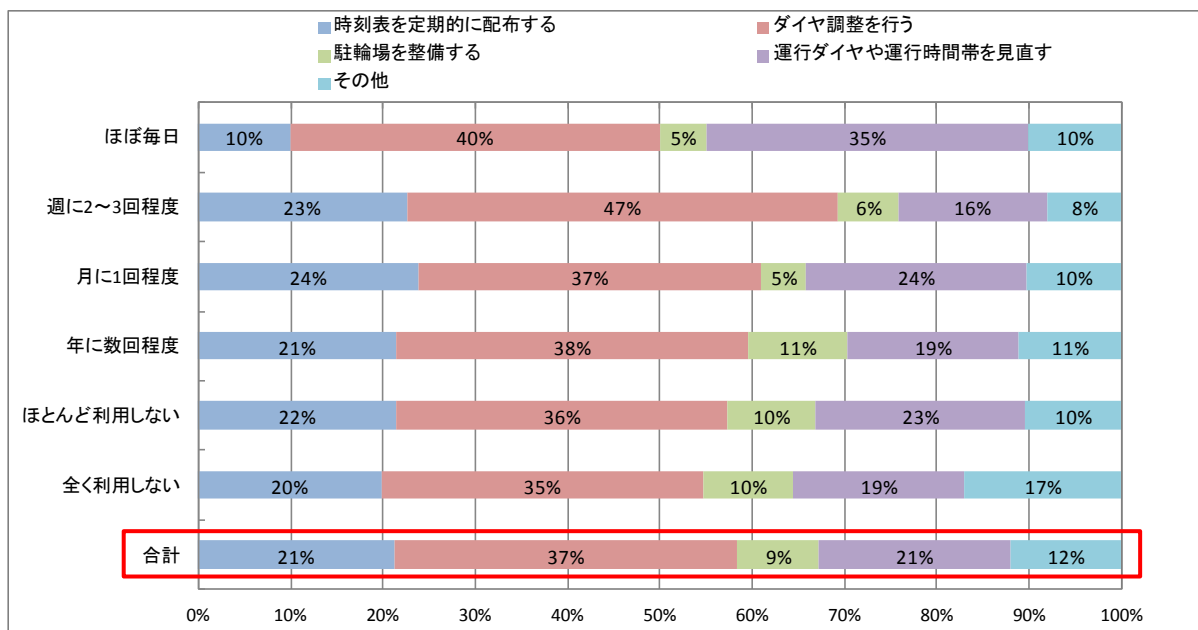
(9) 「一律運賃制」の認知及び評価（問 19）

年齢別の「一律運賃制」の認知度及び評価は、バスの利用割合が多い10歳代及び60歳代以上で高い。合計で見ると、約4割が「この制度を知らなかった」と回答している。



(10) バスをより利用しやすくするための施策（問 24）

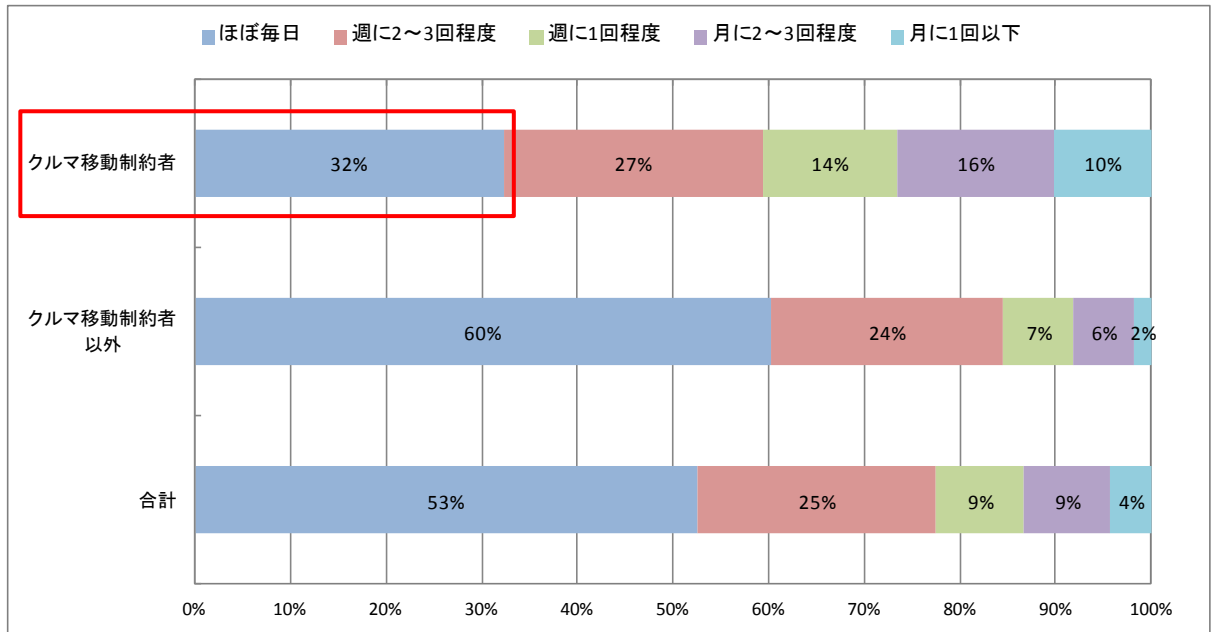
バスをより利用しやすくするための施策では、合計で見ると「神戸電鉄とバスとの乗継ぎがしやすくなるよう、ダイヤ調整を行う」が約4割と最も多く、「市内の公共交通の時刻表（冊子）を定期的に配布する」及び「バスの運行ダイヤや運行時間帯を見直す」がそれぞれ約2割であった。



(11) クルマ移動制約者の外出頻度

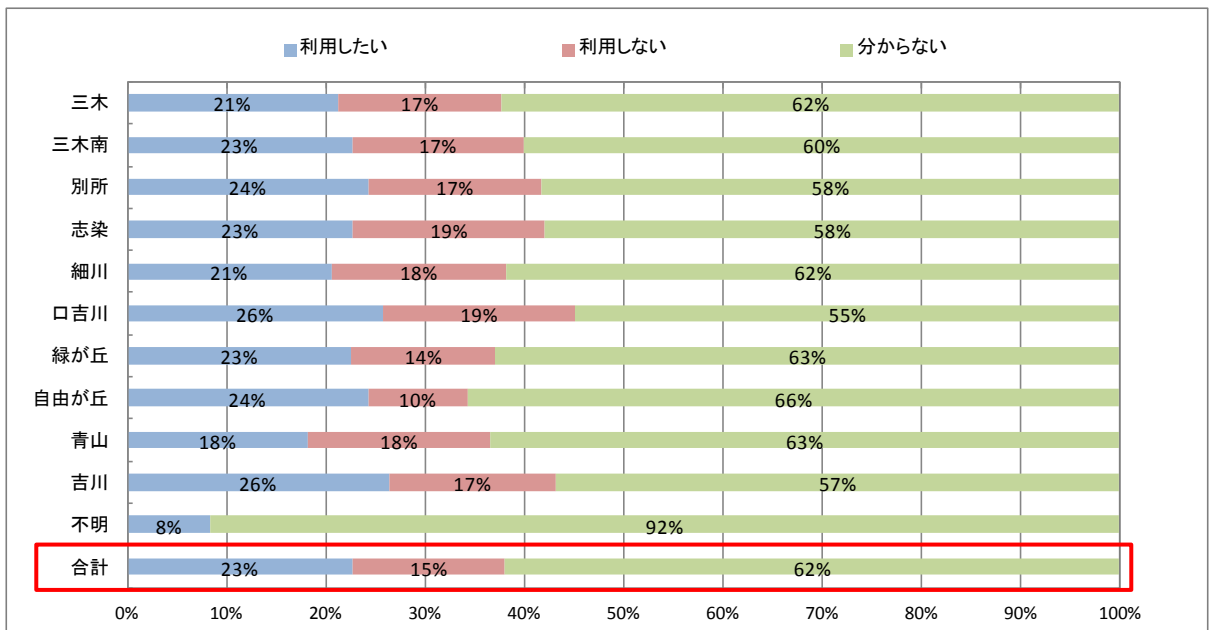
ここでの「クルマ移動制約者」の定義は、問6自動車所有「4 所有していない」又は問7自動車の運転「2 自分で運転しない」又は問8自動車運転免許証の保有状況「1 返納した」若しくは「4 運転免許証を持っていない」と回答した者とする。

「クルマ移動制約者」の外出頻度をみると、「クルマ移動制約者以外」と比べ「移動制約者」は外出頻度が低くなっている。



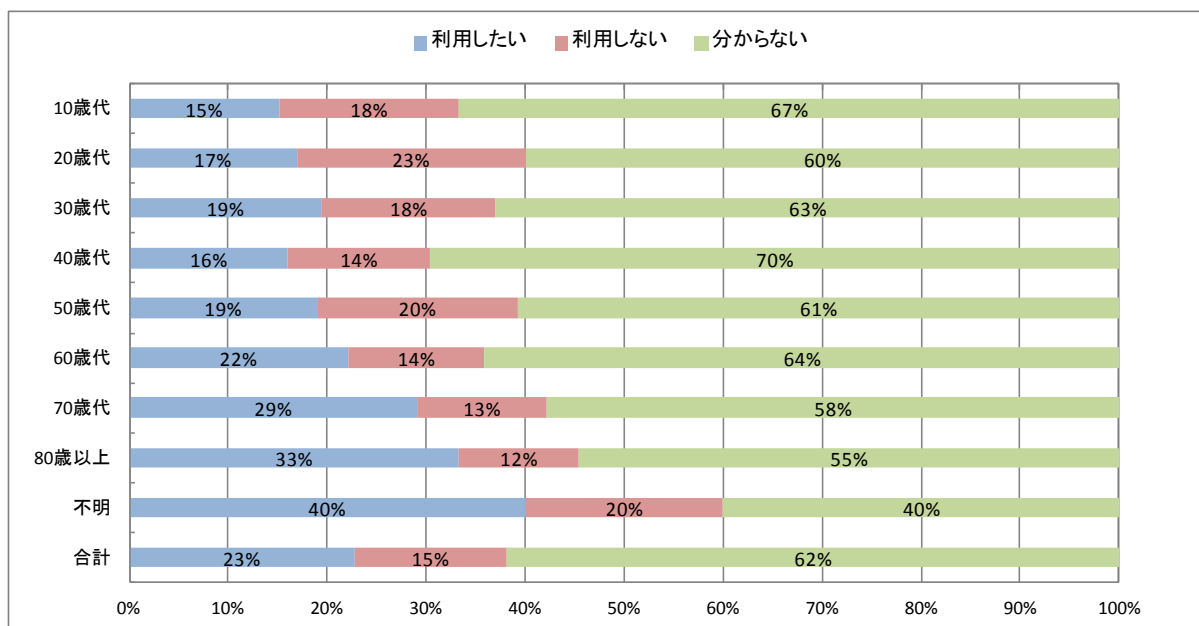
(12) 地域別のデマンド型交通の利用意向 (問 29)

合計でみると「利用したい」が約2割であり、口吉川及び吉川地域でその割合がやや多くなっている。



(13) 年齢別のデマンド型交通の利用意向（問 29）

高齢となるにつれ、その利用意向が強くなっている。



(14) 公共交通を維持するための経費について（問 31）

合計で見ると「なるべく維持すべきと考えるが、経費の節減に努めるべき」が最も多く約6割を占めており、「経費をかけてでも維持すべき」の約3割より多くなっている。「利用者の少ない路線は早急に見直すべき」は約1割となっている。

